

産後感謝式

産婦は立ったとき、聖堂にきて定められた場所にひざまずく。司式者は立って次のように言う。

全能の神は大いなる恵みをもってなんじを守り、出産せしめたまえり。ゆえに、いま真心をもって感謝し奉るべし

次に左の詩篇の一つを用いる。

詩百十七篇

父と子と聖霊に 栄光あれ
初めにあり、今あり 世々限りなくあるなり アーメン

詩百十六篇一一一、四一八

父と子と聖霊に 栄光あれ
初めにあり、今あり 世々限りなくあるなり アーメン

司式者 主よ、あわれみたまえ
会衆 キリストよ、あわれみたまえ
司式者 主よ、あわれみたまえ

次に一同、主の祈りを唱える

天にします我らの父よ、願わくは御名を聖となさしめたまえ。御国たまえ。御心を天におけるごとく、地にも行わしめたまえ。我らの日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我ら赦すごとく、我らの罪え。我らを試みにあわせず、悪より救いいだしたまえアーメン

司式者 主よ、この姉妹を救いたまえ
会衆 彼は主にたれより
司式者 彼のために堅固なる城となりたまえ
会衆 彼の敵を防ぎたまえ
司式者 主よ、我らの祈りをききたまえ
会衆 我らの声を主の御前に至らせたまえ
司式者 我ら祈るべし

全能の神よ、この姉妹を救い、つつがなく出産の苦しみと危うきとを過ごさせたまいしことを感謝し奉る。慈悲深き父よ、願わくはこの姉妹をして、今の世においては忠実に主に仕え、後の世においては限りなき栄光をうくることをえさせたまえ。この感謝と祈禱を主イエスキリストによりてささげ奉る。アーメン

ここで適当な祈りを用いてもよい。

出産後感謝をする人は信をささげる。当日またはなるべく早い機会に聖餐を受けなければならない。